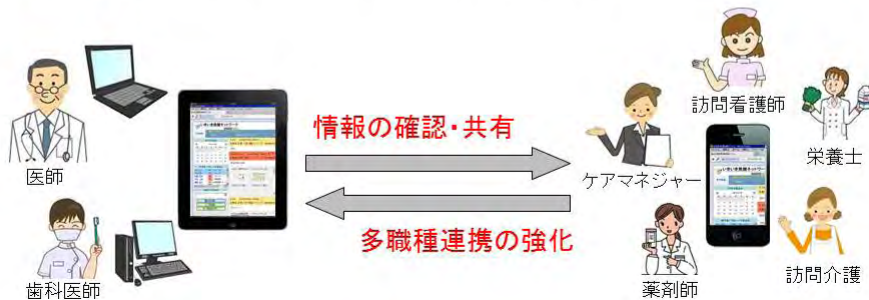


- (2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援
- (3) 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携

### 多職種による情報共有ツール

- ・電子@連絡帳システム（2013年10月～）  
多職種が、患者情報をリアルタイムに共有でき、連携が円滑にできる。
- ・「つながろまい津島」ICTワキング<sup>®</sup>（2014年1月・3月）  
電子@連絡帳システムの運用・周知方法、課題等を協議。

**課題** 市内の医療機関・介護事業所への普及促進。導入説明会の開催を検討。



- (4) 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み

### 在宅医療支援病床（2013年7月～）

- ・在宅医療支援病床ワーキング（2014年2月）

運用しての現状と課題を明らかにし、解決策の検討を行う。市民病院による、主治医をバックアップする仕組みを検討する。

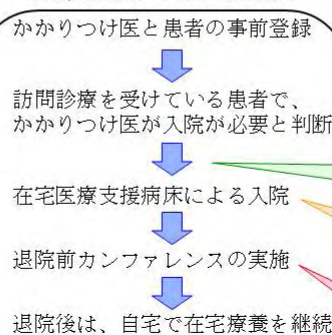
**課題** 関係職種への周知・受入れ患者の拡大・退院前カンファレンスの徹底。



#### 社会実験としての取組み

津島市民病院は、地域における基幹的な急性期病院であるが、今後の地域医療の重要性を考え、**地域と急性期病院との新しい連携のモデル**となるよう、社会実験として在宅医療支援病床の運用を開始。

#### 支援病床 利用の流れ



平成26年4月1日時点  
登録医療機関 26件  
登録患者 25人  
病床利用者 6人

かかりつけ医と市民病院の連携

在宅医療従事者家族の負担軽減

在宅医療従事者市民病院の連携

(5) 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動

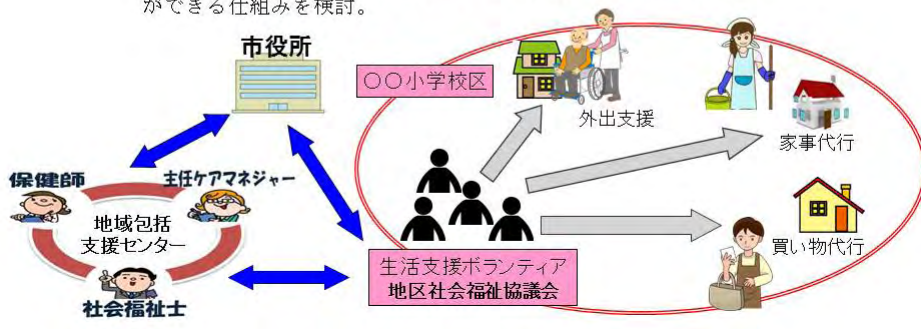
地域毎で支える仕組みの構築

・地域支え合いワーキング（2014年2月）

住民自らが主体的な活動を始めることができる環境を創っていくため、行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター・地域住民代表で組織し、方策や課題を協議する。

課題

在宅医療、地域包括ケアシステムの確立には、地域住民が共に助け合う関係の構築が必要。  
配食支援・外出支援・買い物代行・家事代行・見守り支援などのボランティアを育成し、医療・介護サービスでは対応できない部分を補うことができる仕組みを検討。



ロードマップ タスク1~5

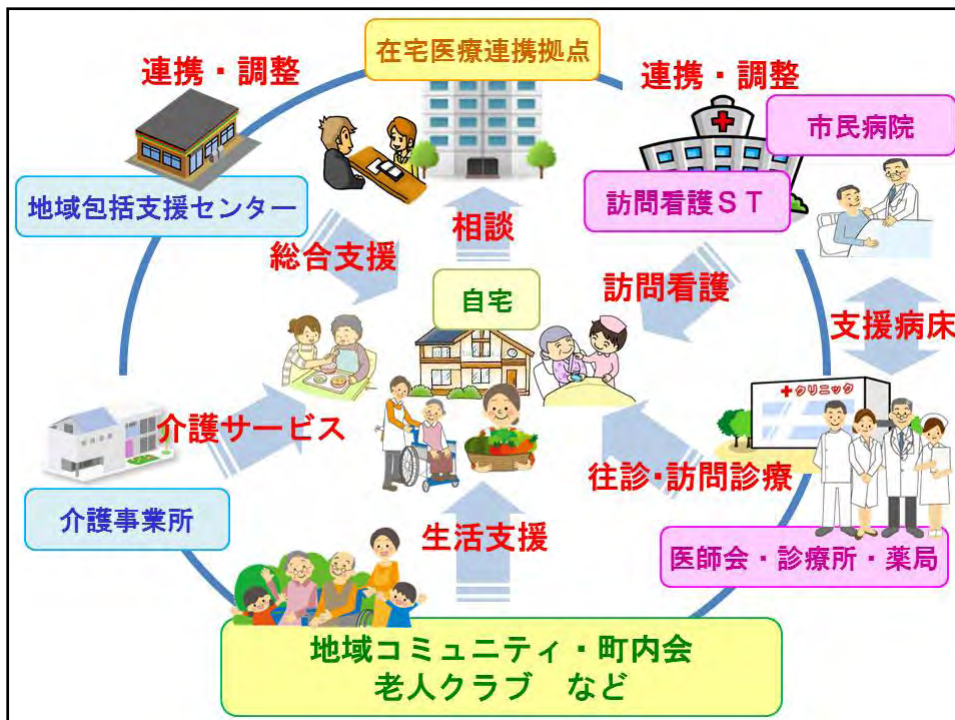
事業項目	平成25~26年度 事業スケジュール(★印は、他事業と連携)					
	平成25年度	平成26年度				
	第4四半期 1月~3月	第1四半期 4月~6月	第2四半期 7月~9月	第3四半期 10月~12月	第4四半期 1月~3月	
抽出と種別解決策の探検	津島市医師会介護連携推進協議会(年4回) ★地域連携フォーラム(年1回) ★多職種による事例検討会(年3回) 津島市在宅医療連携推進協議会(年4回) 「つながるまい津島」ICTWG開催(年6回) 地域支え合いWG開催(年4回) 在宅医療支援病床WG開催(年2回)	●	●	●	●	●
在宅医療従事者の支援	在宅医療総合相談窓口の継続と周知 衛星携帯電話の設置継続 医科歯科連携システム構築 津島市民病院によるバックアップ 夜間・緊急時に対応するサービス提供 診療所間同士の連携	随時相談 HP掲載 定期的な充電 衛星携帯電話一覧表作成・配布 WGで連携方法の検討 WGで協議・検討 夜間対応型・定期巡回随時対応型訪問介護事業所募集	HP掲載 衛星携帯電話一覧表作成・配布 連携手順作成・運用 WGで協議・検討 26年度の開設に向けて準備・調整 WGで協議・検討	防災訓練で試用 地域連携バスの検討 WGで協議・検討 27年度以降の配置に向け検討	広報掲載 往診機材の整備と検討 バックアップ体制の構築 WGで協議・検討	評価
提供の高低の医療連携	★地域ケア会議(年3回)(事例検討会含む) 電子連絡帳システムの運用と普及啓発 在宅医療従事者実務研修(年4回) ★三師会合同研修会開催(年1回) 在宅医療コーディネーターの配置の検討	WGで現状報告 ● ● ●	利用事例拡大 計画作成 実施	かかりつけ医拡大 拡大に向け、随時協議・検討 27年度以降の配置に向け検討	● ● ●	● ● ●
軽負担	在宅医療支援病床の運用と周知 介護事業所のショートステイ受け入れ強化	WGで検討 HP掲載	HP掲載 空き状況など一覧表の作成	WGで検討 一覧表の完成	広報掲載 WGで今後の方針を検討 HPなどに掲載	● ●
発信活動	出前講座による普及啓発 ポスター掲示、チラシ配布、広報・HPなどで周知 マスメディアの活用(CATV、新聞など)	WGで協議 実施	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●

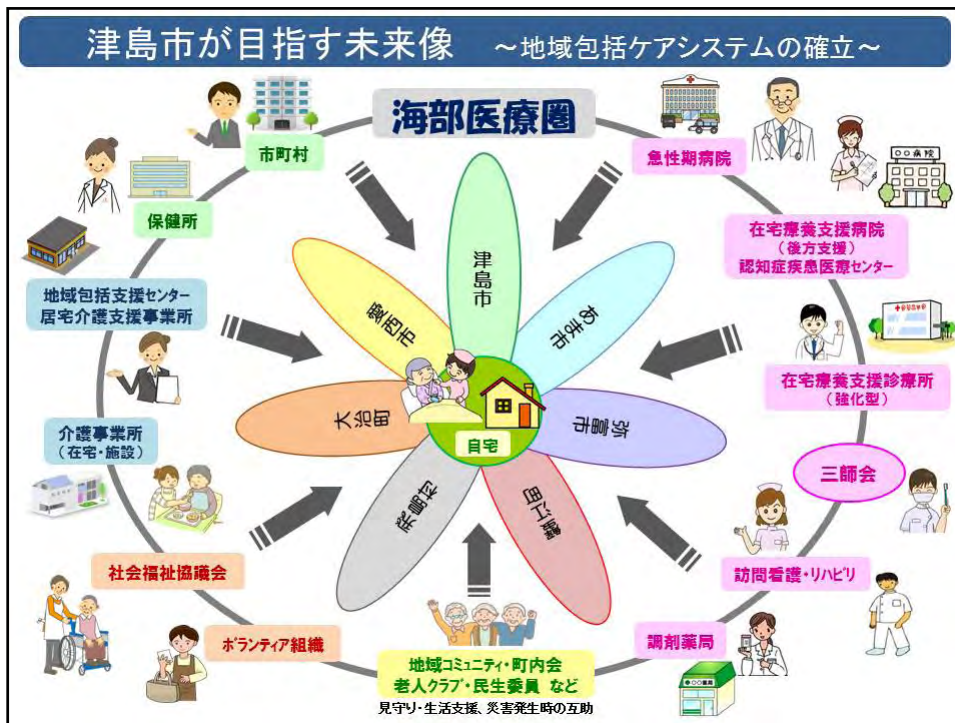


## ロードマップ 独創的な取り組み

平成25～26年度 事業スケジュール(★印は、他事業と連携)

事業項目	平成25年度		平成26年度			
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
★健康つしまプロジェクトチーム(毎月)	● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	
海部津島地域包括ケア推進協議会設立の検討		関連会議で提案・検討 ●		関連会議で提案・検討 ●		
つしま在宅療養手帳(仮)の運用 (緊急・災害時用)		内容の検討	→		運用の検討	
薬局薬剤師と医療機関の連携		市民病院の勤務医に実施	介護事業所関係者に実施	かかりつけ医(内科・歯科)と薬剤師に実施		
訪問看護ステーションとの連携 (顔の見える関係づくり)	訪問看護師を講師とした研修会の実施	訪問看護師を支援のメンバーに組み込む	→			
高齢者あんしんガイドブック			内容の検討	作成	配布	
認知症患者を地域で支える取り組み	★認知症対応病院モデル事業(市民病院)	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	
地域住民の自発的活動への支援		地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	
地域で見守るボランティアの育成 (生活支援ボランティア)	★ワンコインサービス開始(シルバー人材センター)	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	









**津島市 在宅医療連携拠点推進事業**

担当窓口  
 津島市健康福祉部高齢介護課 長寿福祉グループ  
 担 当：福谷 (ふくや) ・岡本・則竹・山口  
 電話番号：0567-24-1111 内線2145  
 住 所：〒496-8686 津島市立込町2丁目21番地  
 アドレス：kaigo@city.tsushima.lg.jp  
 ＊津島市公式ホームページにて活動内容を掲載しています